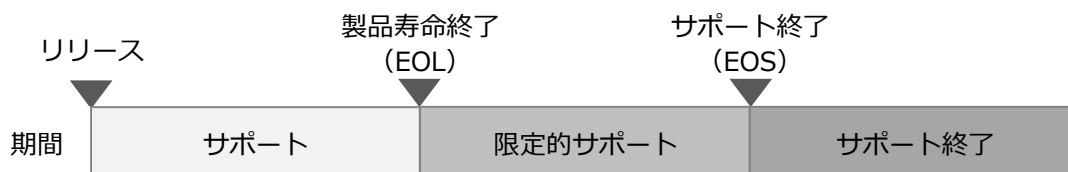


セキュリティ関連情報

1. EOL/EOS について

当該製品（Sonosite LX）における、EOL,EOS の定義を以下に示します。



<EOL/EOS 方針>

EOL（製品寿命終了）：製品の耐用期間を迎えるとき

EOS（サポート終了）：製品のサポート活動を終了するとき

<本製品の EOL/EOS 情報>

製品名 / 販売名	バージョン	製品寿命終了(EOL)	サポート終了(EOS)
Sonosite LX	全バージョン	お客様のご使用開始 (納品時) から 7 年間	2032 年以降の予定

※:本情報は必要に応じて変更されることがあります。

2. 保守計画について

●サポート期間中（～EOL）

- ・ 販売を終了してから一定の期間は修理を含む技術サポートの提供を保証致しております。
- ・ サポート対象製品に含まれるすべてのソフトウェアコンポーネントについて、そのライフサイクル、サポート状況、セキュリティリスク、および脆弱性を継続的に監視しています。製造元にて対応が必要と判断した場合は、ソフトウェアアップデート又は脆弱性修正を提供します。

●限定的サポート中（EOL～EOS）

- ・ サポート期間中と同じとなりますが、EOS を迎えるまでの本期間で装置の買い替えを検討してください（詳細については、当社の営業またはサービス担当者にお問い合わせください）。

●サポート終了後（EOS 以降）

- ・ 市販後監視の一環として脆弱性情報を監視しますが、薬事上の回収（改修）に該当する

場合を除き、脆弱性の修正を含むセキュリティアップデートの準備・提供は行いません。
セキュリティに関する責任はお客様へ移転されます。

- ・ 回収（改修）に該当はしないものの、製品に影響する深刻度が高い脆弱性（緊急性が高い脆弱性）については、情報を提供します。
- ・ その他、情報提供を求められた場合は、セキュリティアドバイザリの開示を行います。

3. セキュリティインシデント発生時の対応

セキュリティインシデント発生時には、以下のご対応をお願いいたします。

(1) 初期対応（ネットワークからの切り離し）

当社製品が接続されたネットワーク内で、セキュリティインシデントが発生した、またはその疑いがある場合、当社製品をネットワークから切り離してください。

また、当社製品の電源は切らないでください。

(2) 状況の把握・サービス担当者への連絡

以下のA～Fの観点で、被害の範囲や状況を可能な範囲で確認し、サービス担当者へ、これらの情報のご提供をお願いします。

- A. 機器の設定情報の不正な変更
- B. 診断・治療に対する不正な変更又は無効化
- C. 機密データの喪失、改竄又は開示
- D. 機器の機能停止、誤動作又は不正動作
- E. 他の機器・システムへの拡散
- F. マルウェア感染の疑い

(3) 措置・復旧

医療機関内の管理者の判断に基づき、サービス担当者と連携して、ウイルススキャンやマルウェア除去等の適切な措置を行ってください。当社製品が正常に動作することを確認した後、管理者の判断により、ネットワークへ再接続して、製品の使用を再開してください。

以上